

福井県

定数： 2 名

立候補者数： 2 名



氏名 板本 直明

都道府県士会 福井県

年齢 54

勤務先名称 嶋田病院



氏名 小澤 純一

都道府県士会 福井県

年齢 55

勤務先名称 福井県立病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

県士会役員歴

平成18年～平成25年	社会局	担当理事
平成26年～平成27年	社会局	局長
平成28年～平成29年	事務局	担当理事
平成30年～令和3年	社会局	局長 地域包括ケアシステム対策委員会委員長
令和4年～令和5年	副会長	社会局局长 地域包括ケアシステム対策委員会委員

協会役員歴

平成30年～令和5年 日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

理学療法士を取り巻く環境が厳しくなるなか協会と各県士会との密な連携と情報共有の必要性を痛感しています。これまでの経験を活かし協会と県士会の懸け橋となり強固な組織作りのため立候補させていただきます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会活動歴】

日本理学療法士協会 代議員（平成28～令和5年）
 日本理学療法士協会 組織率向上特別委員会委員（平成25～26年）

【学会連合活動歴】

日本精神・心理領域理学療法研究会 理事（令和4～5年）
 日本理学療法管理学会 評議員（令和4～5年）

【士会役員歴】

福井県理学療法士会 社会局担当理事（平成17～18年）
 福井県理学療法士会 財務局局长（平成19～21年）
 一般社団法人福井県理学療法士会 事務局長（平成22～31年）
 公益社団法人福井県理学療法士会 副会長（平成26～令和5年）

【要旨】

団塊の世代がすべて75歳以上になる2025年を目前に、いよいよ構築が進められてきた医療機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの中で、理学療法の真価が問われることとなります。今後は、2040年の高齢者人口のピークと生産年齢人口の急減という局面に向けて、更なる専門性の拡大と深化が求められています。

理学療法士の質については、生涯学習制度を導入して継続的な取り組みが図られ、理学療法士の供給に伴う職域拡大の必要性も認識されていますが、さらに協会と各士会で情報共有や具体的な取り組みを推し進める必要があります。入会率や組織率が低下していますが、協会や士会に帰属することの意義やメリットを実感できるように力を尽くしたいと考えます。

今後は、各士会と協会、学会連合が連携して活動して行くことが大切になってくると考えます。社会的にアピールできる体制の確立のため、協会と士会、そして関連団体が協働して、社会の中で理学療法士の存在価値を高めるための取り組みを推し進め、幅広い分野で私達が活躍できるような未来の礎を築くため、代議員に立候補致します。